

表面保護テープ	DD-063-02
IVY 250	2011.06.03

製品安全データシート

【1】 製造者情報

会社名； 大協技研工業株式会社
 住所； 神奈川県座間市栗原920-3
 電話番号； 046-252-9311
 FAX番号； 046-252-9322
 発行日； 2008年7月17日
 改訂日； 2011年6月3日 【02版】

【2】 整理番号 DD-063

【3】 製品名（化学名、商品名 等）

ポリエステル スプライステープ IVY 250

【4】 物質の特定（登録、規制 等）

- ① 単一製品・混合物の区別； 混合物
- ② 化学品； —
- ③ 成分及び含有量；
 - テープ； ポリエチレンテレフタレート（PET）
 - 粘着剤； シリコーン系
- ④ 化学式又は構造式； —
- ⑤ 化審法 既存化学物質登録No.；
 - ポリエチレンテレフタレート 【7-1022】
- ⑥ 化管法 指定化学物質； 非含有
- ⑦ 安衛法官報公示整理番号； 対象外
- ⑧ CAS No.；
 - ポリエチレンテレフタレート 25038-59-9
 - シリコーン系粘着剤 非開示
- ⑨ 国連分類及び国連番号； —

表面保護テープ	DD-063-02
IVY 250	2011.06.03

【5】 危険有害性の分類

- ① 分類の名称； 分類基準に該当しない。
 - ② 危険性； 可燃性個体であり消防法指定可燃物にあたる。
 - ③ 有害性； 認められない。
 - ④ 環境影響； データなし。
-

【6】 応急措置

- ① 目に入った場合； 通常は可能性なし。目に入った場合は清浄な流水で目を洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。
 - ② 皮膚に付着した場合； ゆっくりと剥がし、水と石鹼で良く洗い流す。皮膚に刺激を感じた場合は直ちに医師の診断を受ける。
 - ③ 吸入した場合； 吸入の可能性なし。
 - ④ 飲み込んだ場合； 嘔吐させた後、直ちに医師の診断を受ける。
-

【7】 火災時の措置

- 消火方法； 一般的な消火方法による。
 - 消火剤； 泡消火剤、粉末、炭酸ガス、大量の水、等
-

【8】 漏出時の措置

- 該当しない。(ロール状の固体のため漏出しない。)
-

【9】 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い； 一般的な可燃物の取扱いによるが、製品の品質を保つ為、過度な衝撃、積み重ねは避けること。
 - 保管； 一般的な可燃物の保管によるが、製品の品質を保つ為、保管条件は常温常湿とし、直射日光や結露は避けること。
-

【10】 暴露防止装置

- 管理濃度； 設定されていない。
 - 許容濃度； 日本産業衛生学会（ 年度版）： 規定されていない。
 - 設備対策； ACIGH（ 年度版）： 規定されていない。
 - 保護具
 - 呼吸用保護具； 特に必要なし。
 - 保護眼鏡； 特に必要なし。
 - 保護手袋； 特に必要なし。
 - 保護衣； 特に必要なし。
-

表面保護テープ	DD-063-02
IVY 250	2011.06.03

【1 1】 物理／化学的性質

外観等； ロール状粘着テープ

沸点； — 蒸気圧； — 揮発性； —
 融点； — 比重； — 初留点； —
 溶解度； 水に不溶 その他； —

【1 2】 危険性情報 (安定性・反応性)

引火点；— 発火点；— 爆発限界 上限：— 下限：—

可燃性；あり

発火性（自然発火性、水との反応性）；特になし。

酸化性；なし

自己反応性・爆発性；なし

安定性・反応性；一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。

【1 3】 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性；特になし

刺激性（皮膚、目）；長時間皮膚に貼り付けた状態であると、個人差はありますがかぶれる恐れがあります。

感作性；知見なし

急性毒性（50%致死量等を含む）；知見なし

亜急性毒性；知見なし

慢性毒性；知見なし

がん原性；知見なし

変異原性（微生物、染色体異常）；知見なし

生殖毒性；知見なし

催奇形性；知見なし

その他（水と反応して有毒なガスを発生する等を含む）；知見なし

【1 4】 環境影響情報

移動性； 知見なし

残留性／分解性； 知見なし

生体蓄積性； 知見なし

生態毒性； 知見なし

表面保護テープ	DD-063-02
IVY 250	2011.06.03

【15】 廃棄上の注意

『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い、公認の産業廃棄物処理業者または自治体に処理を委託する。

【16】 輸送上の注意

転倒、落下、損傷、汚れ等がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。

【17】 適用法令

消防法 指定可燃物（合成樹脂類）

※記載内容の取り扱い

この危険有害性情報は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提に作成したものです。従って、実際の取扱い等においては、ここに記載した危険有害性情報を参考にし、十分な注意の上取扱って下さい。

以上